

活動記録報告書および添付資料作成上の注意

- ① 課外活動・学外活動における実績がある場合は、必ずこの活動記録報告書とその実績を証明する資料（表彰状、新聞等のコピー（日付つき）や、クラブ顧問・クラス担任等による実績を証明する文書で、用紙の大きさはA4サイズ以下とする）を添付すること。この添付資料がない場合には、実績の点数化ができなくなるので注意すること。
- ② 活動記録報告書の作成は、クラス担任、保護者、団体の責任者等があたり、実績を箇条書き（分野ごと学年順に）するとともに1つの実績に添付した資料の枚数を明らかにしておくこと。運動部の場合「スポーツテスト」を実施していれば、その記録も書くことが望ましい。実績の分野が複数にわたる場合は、適当な代表者（たとえば、クラス担任）が一括して作成してもよいし、実績の分野ごとにそれぞれの代表者が作成してもよい。相違ないことを証明する部分には、作成者の所属、部署を明らかにした上で、署名、捺印をすること。
- ③ 特に、個人の実績でなく団体の実績（たとえば、野球、サッカー、吹奏楽等での実績）の場合は、本人の状況を把握する必要があるので、本人の団体でのポジション、役割、貢献度を必ず書き添えておくこと。
- ④ 実績の分野ごとにそれぞれの代表者が活動記録報告書を作成する場合や、活動記録報告書1枚に実績を書ききれない場合は、コピー等して活動記録報告書を2枚以上にして作成してもよい。

課外活動・学外活動における実績

課外活動・学外活動における実績とは、次のA、B、Cのようなものをいい、中学の1年次から3年次までの間に挙げた実績でなければならない。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">A. 地区大会、県大会、それ以上の大会、各種コンクールで挙げた優秀な成績。B. 各方面で、客観的に認められる、卓越した技量、能力を有すること。C. 英語検定準2級以上の取得、漢字検定2級以上の取得、数学検定2級以上の取得、こども県展での推薦、特選受賞、読書感想文コンクールでの上位受賞等。 |
|--|